

映画

《鳩》が映すもの

— 60年代以前のチェコスロヴァキア映画 —

講師：

富重 聡子 (とみしげ・さとこ)

とき：8月9日・30日

ともに日曜日、昼2時～4時

ところ：公民館 地下ホール

定員： 25名（申込先着順）

申込： 7月14日（火）朝9時～

公民館 ☎ 572-5141

主催： 公民館＋一橋大学言社研

1960年、チェコスロヴァキア（当時）で公開された映画『鳩』。少年と鳩を巡る、映像と音の実験に満ちた映画です。冷戦期にもかかわらず、東西両陣営の映画祭で等しく好評を得た稀な作品の一つでした。

なぜこの映画は分断を超えて成功できたのでしょうか。

鳩、という形象が平和のシンボルとして定着してきたこのころ、映画『鳩』は銀幕に何を映したのか、人々はそのに何を投影したのか。本作で長編デビューを飾った巨匠ヴラヂェル監督による、画面構成やイメージの扱いに技巧を凝らした映像をご覧いただきながら、現地の戦後映画史をふりかえり、知られざる映画の魅力を探ります。

一橋大学
院生講座

国立市内の一橋大学では、研究者をめざす大学院生たちが日々研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を続けてきました。最新の研究動向に触れるもよし！ 修行中の院生にアドバイスするもよし！ 院生が講師となって専門分野をご紹介します。

